

## 令和7年度第3回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和8年2月9日（月）午後2時00分～午後3時45分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（4名）

伊 藤 由美子（委員長）

藤 田 素 弘（副委員長）

小 寺 直 美

山 口 英 穂

事務局（6名）

畑 中 伸 也（総務部 部長）

近 藤 巖（総務部 契約監理課 課長）

谷 浩 二（総務部 契約監理課 主幹）

伊 藤 佳 奈（総務部 契約監理課 契約調達係長）

都 築 琢（上下水道部 企画総務課 課長）

中 川 裕 美（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事等担当課（11名）

伊 藤 隆 光（市長直轄組織 防災・危機管理課 課長）

片 山 貴 之（市長直轄組織 防災・危機管理課 課長補佐兼防災企画・管理係長）

溝 口 智 之（市長直轄組織 防災・危機管理課 主査）

濱 口 隆 史（市長直轄組織 防災・危機管理課 主査）

山 下 謙一郎（産業振興部 市民会館 館長）

二 木 健（社会基盤整備部 土木課 課長）

福 村 英太郎（社会基盤整備部 土木課）

伊 藤 一 成（社会基盤整備部 事業推進課 課長）

伊 藤 尚 樹（社会基盤整備部 事業推進課 課長補佐兼事業計画係長）

小 林 信 幸（上下水道部 水道課長）

伊 藤 祐 逸（上下水道部 水道課 課長補佐兼計画係長）

## 事 項

### 1 開 会

【委員長】

ただ今から、令和7年度第3回入札監視委員会を開会いたします。

なお、傍聴の方はいらっしゃっていないということで、また途中でいらっしゃった場合は、その都度、皆さんにお諮りしたいと思います。

それでは、事項書に従って議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

## 2 議 事

### (1) 入札及び契約手続きの運用状況について

#### 【委員長】

「議事(1) 入札及び契約手続きの運用状況について」事務局に説明を求めます。

#### 【事務局】

それでは「(1) 入札及び契約手続きの運用状況について」ご説明いたします。

資料の1ページをご覧ください。

①の指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります、令和7年9月から令和7年12月の4か月の間に指名停止を講じた件数は2件です。

この2件は、三重県が実施した指名停止に合わせまして、桑名市も同等の措置を講じたところでございます。

次に②の談合情報でございますが、対象期間に寄せられた議事の対象となる情報はございませんでした。

続きまして③の入札及び契約の状況についてでございますが、審議対象期間に契約監理課及び、~~企画総務課~~から発注した案件のうち、建設工事に関連する案件は、事後審査型条件付一般競争入札で発注した建設工事56件、事後審査型条件付一般競争入札で発注したコンサル9件、随意契約のコンサル2件、所管課によるプロポーザル方式での発注案件3件でございます。なお、今回は令和6年度分の変更契約も含めております。

説明は以上でございます。

#### 【委員長】

それでは、この件についてご意見、ご質問ございませんでしょうか。

(意見等なし)

#### 【委員長】

では、特にないようですので、この件については以上といたします。

### (2) 抽出事案の審議について

#### 【委員長】

次に事項の2、抽出事案の審議に入ります。

初めに今回の5件の抽出理由について、抽出理由を山口委員からご説明願います。

【山口委員】

よろしくお願いします。

1 件目は「多度 9 号井電気・機械設備工事」で、応札業者が 1 者で少ないため。

2 件目の「市民会館空調設備機器更新工事」については、落札率が高いため。

3 件目の「令和 7 年度 名勝旧諸戸氏庭園保存整備工事」は、1 回目が不落で、2 回目も応札者が 1 者と少なかったため。

4 件目の「桑名市防災拠点施設機能拡充工事」は、応札者が少ないため。

5 件目の「細川堆積土砂撤去工事」は、契約変更で金額の増減が大きいため抽出をしました。

【委員長】

それでは、審議に先立ちまして、抽出案件 5 件について説明を求めるため、入札監視委員会条例第 6 条の規定に基づき、案件ごとに発注担当課の入室を許可することといたします。

(発注担当課入室)

**抽出事案 1 多度 9 号井電気・機械設備工事**

【委員長】

それでは、1 件目、「多度 9 号井電気・機械設備工事」について、本件の工事概要、発注公告の内容及び入札の経過について、発注担当課並びに事務局に説明を求めます。

【水道課】

おはようございます。水道課の小林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

概要書をご覧ください。

件名は、多度 9 号井電気・機械設備工事でございます。

履行場所は、桑名市多度町御衣野地内他。位置図をご覧くださいと、複数箇所ございます。多度 9 号井は新たな水源を工事しており、主にこちらで電気設備工事を行います。その他の上野浄水場、多度 8 号井、多度南部配水場につきましては、通信の関連性がある施設で、現在ある装置の機能増設をするための場所となります。

履行期間は、令和 7 年 12 月 22 日から令和 10 年 1 月 31 日まで。

予算額は、税込み 675,112,000 円。設計額は、税込み 646,369,900 円です。

工事内容としましては主に電気機械設備で、受変電及び機械制御盤や自家発電装置を新規に取り付け、上野浄水場 LCD 監視装置の機能増設、TM/TC 基盤機能の増設。また、8 号井の計装盤機能増設や、多度南部配水池流入弁操作盤の機能増設です。機械設備につきましては、各種取水ポンプ、エアチャンバー、除鉄・除マンガンろ過機等の新たな機械設備を設置する内容となっています。

概要については以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の17ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札で低入札価格調査制度対象案件となります。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、電気工事業の特定許可業者であること。

所在地要件は県外までとし、経審点数は市内業者450点以上、準市内業者は1,000点以上、県内及び県外業者は1,100点以上。

発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であること。

同種工事施工実績として、平成22年度以降、官公庁が発注した案件で、上下水道施設電気設備工事及び、上水道又は工業用水における処理水量が1日あたり1,500m<sup>3</sup>以上の浄水設備の電気工事又は機械器具設置工事の施工実績を有することとしています。

技術者要件として、現場代理人と監理技術者の配置を求め、低入札価格で契約を締結する場合に限り、監理技術者に求める資格を有する専任の技術者を1名追加配置することとしました。また、その他の要件として電気工事業のほか、機械器具設置工事及び水道施設工事の特定建設業の許可を有することとし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、18ページをご覧ください。

令和7年12月9日に開札を行いましたところ1者から応札があり、開札の結果、調査基準の額以上かつ予定価格の範囲内でありましたので、荏原商事株式会社中部支社を落札候補者とししました。その後、事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜き540,000,000円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

では、ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

【山口委員】

経審点数は市内業者450点、準市内業者1,000点等の条件があるが、落札業者は市内、準市内どれに当たるか。

【水道課】

こちらは県外業者です。

【山口委員】

5億を超える工事で1者しかいなかったが、応札するかしないかは別として、市内業者450点以上という条件で対応できる業者は何者くらいあるんですか。

【水道課】

市内、準市内ともいない状況です。

【山口委員】

市内、準市内業者もこの条件で該当する会社がなかった。県外業者1者だけが応札した。

前の時も、電気設備について特定の機器を入れる必要があり、1 者しかいなかったということがあったと思いますが、そういう状況になっていませんか。

【水道課】

今回は新しい機器を入れますので、特定の業者でないといけないというものではございません。

【山口委員】

では、結果として県外業者も含めて応札したのは1 者だけだったと。そういうことでよろしいですか。

【水道課】

はい。

【山口委員】

たくさんの応札があるのが理想だが、この条件ではこの1 者しかないということではないですか。会社の事情もあるとは思いますが。

【水道課】

調べたところ県外で27 者あったと把握しています。1 者しかなかったということについては、5 億円という規模が同種工事の中では低い金額であるため、うまみが少ないと思われるのかなと思っております。

【山口委員】

分かりました。

【委員長】

ほかにありませんか。

【委員長】

ないようですので私から。今の山口委員の質問に関連して、業者から見て規模が小さいとのことでしたが、一般的にというと難しいかもしれませんが、給水絡みの工事というどれくらいの金額の規模になるんですか。

【水道課】

10 億円以上が多いと聞いております。

【委員長】

ありがとうございます。他にご質問、ご意見等ありませんか。

(意見等なし)

【委員長】

では特に無いようですので、この案件につきましては、特に問題なしということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

【委員長】

では問題なしと認め、そのように決定いたします。

ここで、担当課が入れ替わりますので、少々お待ちください。

(発注担当課入替え)

## **抽出事案 2 市民会館空調設備機器更新工事**

### **【委員長】**

それでは、次に2件目、「市民会館空調設備機器更新工事」の審議に入ります。本件の工事概要、発注公告の内容及び入札の経過について、発注担当課並びに事務局に説明を求めます。

### **【市民会館】**

市民会館の山下でございます。よろしくお願いいたします。

概要書の19ページをご覧ください。

件名は、市民会館空調設備機器更新工事。

履行場所は、桑名市中央町三丁目20番地地内。

履行期間は、令和7年10月28日から令和8年2月28日まで。

予算額は、税込み32,648,000円。設計額は、税込み32,648,000円です。

工事の概要は、空調設備自動制御装置の改修で、空調設備リモート盤機能増設が8面、F C Uコントローラー更新が33個、機器更新に伴う中央監視盤データファイル修正1式です。

工事の概要の説明は以上となります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

### **【事務局】**

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の22ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件につきましては、管工事業の特定又は一般許可業者であること。

所在地は市内までとし、経審点数は450点以上。

発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であること。

同種工事施工実績は、平成22年度以降に官公庁が発注した案件で、空気調和設備工事の施工実績を有することとしています。

技術者要件として、現場代理人と主任技術者の配置を求め、兼務は可とし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、23ページをご覧ください。

令和7年10月15日に開札を行いましたところ、2者から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で最も低い金額で応札した、株式会社カキトーを落札候補者としました。

事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜き

29,650,000円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

はい、ありがとうございました。

それでは、ただ今の説明について、ご意見、ご質問等をお願いいたします。

【山口委員】

単純に、落札価格が異様にぴたっとなっているんですけども、予定価格は公表していますよね。最低制限価格は公表していないですよね。

【事務局】

はい。

【山口委員】

空調設備工事で、落札価格が最低制限価格とぴったりとなるのはあり得るのか。

【市民会館】

実際に業者が入札されているので、私達で把握はしておりませんので分かりませんが、令和2年度に親機を修繕しており、今回は子機の更新となったため機器価格に競争が働きにくかったのかなと考えます。そういったことで見積価格を下げにくかったと推測しています。また、空調設備工事では資材費が工事費の多くを占めており、近年は機器費や労務費が上昇しているため、そういったことを反映しているのではないかと推測します。

【山口委員】

令和2年に類似の工事をして、その時の価格が参考になり、このようになったということですか。

【市民会館】

親機と子機のメーカーを合わせざるを得なかった。メーカーの価格調整力が強かったと推測しています。

【山口委員】

過去にも類似の案件で落札率が99.89%というのはありますが、経験上でいかがですかね。

【市民会館】

過去にたくさん実績があるわけではないので、何とも言えません。

【山口委員】

予定価格を公表して、応札者が少ない時に、落札率99.89%という数字が出てくると談合を疑ってしまう。もう少し応札が増える工夫をしてもらえるといいのかなと。入札には内訳書を出してもらうんですよね。

【事務局】

内訳書を出してもらっています。

【山口委員】

なるべくたくさんの業者に応札していただけるような工夫をお願いします。2者では少

ないと思うので、その辺りをよろしくお願いします。

【委員長】

近年、応札が少ないケースが増えている気がします。市内業者で応札可能業者はどれくらいみえたのでしょうか。

【市民会館】

今は、手元に資料がないので不明です。

【委員長】

より多くの業者に応札してもらえるような工夫が必要かと思います。そのほかに質問等いかがでしょうか。

【藤田委員】

資材の高騰や労務費の値上げとありましたが、予算の設計自体はいつ頃決まったのですか。

【市民会館】

もう一度お願いします。

【藤田委員】

どうやって予定価格を出していますか。

【市民会館】

積算をしまして、それによって価格を出しています。

【山口委員】

もう少し具体的にお願いします。

【藤田委員】

だんだん工事費が高くなっていると思うんですけど、積算の基になるものはどこから与えられて積算されているのか。予定価格が上がり、応札業者が増えて逆に応札額が下がるのが良いのか分かりませんが、どのように積算をされているか教えてください。

【市民会館】

業者から参考価格の見積りを取り、それを基に予定価格を作成しています。

【藤田委員】

それは最近のもので、業者から取るんですよね。

【市民会館】

発注する直前に業者から取っています。

【藤田委員】

うまみが無いから少ないのか、本当はうまみがあるが、業者が上手に選んで予定価格ぎりぎりまで応札しているかは分かりませんが、分かりました。

【市民会館】

価格の高騰については、原材料価格やエネルギー価格の上昇といった様々な価格上昇圧力があり、機材メーカーや材料メーカーも値上げが相次いでおり、昨年見積りを取った参考



価格から見ても大変値上がりが激しい状況です。それで、一定の時期に見積りを取って入札を行ってとなると、資機材の価格上昇に対して、そもそも入札額が下がりにくい状況であるのかなと推測しています。

【委員長】

腑に落ちないところがありますが、価格変動が激しい中で予定価格が公表されていると言うものの、ぴたっとその数字に合わせて出せるのでしょうか。

【市民会館】

そこは、落札業者の積算なのかなと思います。私共では把握できる範囲では無いのかなと思っています。

【委員長】

どのように計算されているか、もちろん業者の中の数字があると思いますが、できるだけ疑念を抱かずに済むような状況で入札が行われると良いかなと思います。他市町村で予定価格の公表をしているところは多くあるのですか。

【事務局】

予定価格の事前公表をしている団体は、桑名市以外にも多くあります。

【委員長】

それがどうなのかということかもしれませんし、予定価格があれば予定価格ありきでというところはあるのかなと思っています。

【委員長】

それでは、この件についてほかにいかがでしょうか。

山口委員からありましたように、応札業者がどうしたら増えてくれるか工夫を考えていただくという意見があったということで、締めたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

【委員長】

では、そのように決定いたします。

ここで、担当課が入れ替わりますので、少々お待ちください。

(発注担当課入替え)

### 抽出事案 3 令和7年度 名勝旧諸戸氏庭園保存整備工事

【委員長】

それでは、次に3件目、「令和7年度 名勝旧諸戸氏庭園保存整備工事」の審議に入ります。本件の工事概要、発注公告の内容及び入札の経過について、発注担当課並びに事務局に説明を求めます。

【事業推移進課】

事業推進課の伊藤です。

概要書の 24 ページをご覧ください。

件名は、令和 7 年度 名勝旧諸戸氏庭園保存整備工事。

履行場所は、桑名市大字桑名他地内。

履行期間は、令和 7 年10月14日から令和 8 年 3 月23日までです。

予算額は、税込み26,500,000円。設計額は、26,007,300円でございます。

本工事は、歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業により、国指定名勝庭園である旧諸戸氏庭園の保存整備工事を実施するものです。

工事概要は、公園土工、構造物撤去工、コンクリート工、構造物整備工、公園施設等撤去・移設工、植栽工、公園施設整備工各一式です。資料の 25 ページが位置図、26 ページが平面図です。

内容としては以上となります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

#### 【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の27ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、造園工事業の特定又は一般許可業者であること。

所在地は県外まで。

発注業種の完成工事高は、予定価格の 2 分の 1 以上であること。

同種工事施工実績として、平成22年度以降に官公庁が発注した案件で、造園の庭園整備工事の施工実績を有すること。

技術者要件としては、現場代理人と主任技術者の配置を求め、兼務は可とし、その他要件で、官公庁が発注した国指定名勝庭園での造園工事を元請として履行した実績を有していること、又は文化財庭園保存技術協議会の会員を有していることを求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、28ページをご覧ください。

令和 7 年10月 1 日に開札を行いましたところ、諸戸緑化産業株式会社三重支店から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内であったため、落札候補者となりました。

事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜き 22,900,000円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

#### 【委員長】

はい、ありがとうございました。

それでは、ただ今の説明について、ご意見、ご質問等をお願いいたします。

#### 【山口委員】

私が頂いた資料では、1 回目が不落で、2 回目をやっているんですね。1 回目の失格は、

最低制限価格を下回ったということでしょうか。

【事務局】

内訳書に不備があり、1 者しか応札がなかったためです。

【山口委員】

内訳書に不備があったんですね。やり直して、金額は変わってないですもんね。令和 7 年 9 月 10 日の 1 回目が 1 者の応札だけ。その際に内訳書が不備になって、次は 10 月に入札をやり直したということですか。

【事務局】

内訳書不備ですが、詳細な誤りの内容はお答えできませんが、こちらが示している条件の書き方をできていなかったというところで、不落になっています。

【山口委員】

入札参加資格の要件で、文化財庭園保存技術協議会の会員の資格を有しているとありますが、この条件はどういうことですか。入札をやり直しても 1 者しか応札がなかったのは、これを有しているところがあまりにも少ないのではないかと。諸戸庭園の保存整備工事に、諸戸緑化産業というのは、同じ系列の会社ではないのですか。同じ系列の会社なので、そこが落札したんじゃないかという疑念がありますが。

【事業推進課】

同じ諸戸ということで、当然関係性はあると思っております。ただ、これは一般競争入札させていただいて、広く募集して入札した結果であります。あと、先ほど言われた要件の関係ですが、今回の庭園は国指定の文化財ですので、文化財保護法や庭園を修景する際に、それに配慮した設計や施工を求められておりますので、1 と 2 の要件を付けさせていただいております。また、文化財庭園保存技術協議会とはということですが、先に調べておりました東海三県だけでも 20 社以上ございます。ですので十分、一般競争入札の競争性は図られると考え発注しています。

【委員長】

山口委員いかがでしょうか。

【山口委員】

条件が二つありますが、その両方を満たさないといけないのか。

【事業推進課】

1 もしくは 2 ですので、どちらかです。

【山口委員】

分かりました。

【委員長】

文化財庭園保存技術協議会は東海三県だけでも 20 社以上あるとのことでしたが、今回は県外業者も含めて入札が行われています。つまり全国規模で行われた結果、1 者しか応札が無い状況について、どのようにお考えでしょうか。

【事業推進課】

考えというか、結果についてですが、当然ながら条件について2点を付加することによって、一般的な入札としても窓口が狭くなってしまうというのは予想しておりました。ですので、県内業者だけでは少なくなってしまうので、県外もということで、最初から全国に広げて入札させていただきました。それに対して少なかったというのは、業者のニーズに合っていなかったのかなということぐらいしか分かりません。

【委員長】

諸戸緑化産業株式会社は諸戸さんの案件のみやられているのでしょうか。

【事業推進課】

もちろんそれ以外もやられています。

【委員長】

京都の造園業者が以前に諸戸庭園の造園に関わったことがあると聞いたことがあります。下請けでやられていたか分かりませんが、全国規模ならそういう所も参加できるのになと考えました。

【委員長】

ほかによろしいでしょうか。

(意見等なし)

【委員長】

では、この案件については、どのようにしましょうか。問題なしとするか、応札が少ないことに対して、しょうがないということにするか。あるいは、何か工夫をしていただくという意見を付すのかいかがでしょうか。

県外までにはしていますし、国指定の文化財ですので、それなりのレベルは必要と思われます。

【山口委員】

県外まで広がっていますし、問題ないと思います。業者同士で付度が働いたかもしれませんが、発注側ではどうしようもない話だと思います。

【委員長】

では問題なしと認め、そのように決定いたします。

ここで、担当課が入れ替わりますので、少々お待ちください。

(発注担当課入替え)

#### 抽出事案 4 桑名市防災拠点施設機能拡充工事

【委員長】

それでは、続きまして、4件目「桑名市防災拠点施設機能拡充工事」の審議に入ります。本件の工事概要、発注公告の内容及び入札の経過について、発注担当課並びに事務局に説明

を求めます。

#### 【防災・危機管理課】

防災・危機管理課の伊藤と申します。

お手元の概要書に沿ってご説明させていただきます。

件名は、桑名市防災拠点施設機能拡充工事。

履行場所は、桑名市星見ヶ丘4丁目1001番地地内。

履行期間は、令和7年12月23日から令和8年8月28日まで。

予算額は税込み134,000,000円に対して、設計額は税込み133,870,000円です。

工事の内容といたしましては、31ページの別添配置図をご覧ください。桑名市防災拠点施設の敷地内西側に備蓄倉庫を4棟増築する工事でございます。建物の構造は鉄骨造平屋建て、1棟当たりの延べ面積93.8㎡、4棟合計371.2㎡でございます。

なお、図面には記載しておりませんが、倉庫は左側から順にA B C Dとさせていただきます。図面下半分に斜線が引いてある建物が4つあると思いますが、左側から順にA B C Dです。

次に電気設備工事としまして、4棟の倉庫のうち、左側のAとBの倉庫の屋根に8.2キロワット程度の太陽光発電装置を設置いたします。そして、災害時に使用できるよう発電した電力を貯めておくための蓄電池も設置いたします。

さらにAの倉庫には、発電した電力で温度管理ができるように、~~エアコン~~空調機を設置いたします。

なお、BとCとDの倉庫については常温倉庫となっておりますが、一定以上の温度になった場合は、空気の入れ替えを行えるよう換気扇を設置いたします。工事の概要は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

#### 【事務局】

続きまして事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の36ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、建築工事業の特定許可業者であること。

所在地は県内までとし、経審点数は、市内710点以上、準市内900点以上、県内1,000点以上とし、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であること。

同種工事施工実績として、平成22年度以降に官公庁が発注した案件で、建築一式工事の施工実績を有すること。

技術者要件として、現場代理人と監理技術者の専任配置を求め、兼務は可とし、その他要件として、低入札で契約を締結する場合、上記技術者のほかに監理技術者に求める資格を有する者を専任の技術担当者として1名追加配置することを求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、37ページをご覧ください。

令和7年12月10日に開札を行いましたところ、株式会社伊藤工務店1者から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内だったため、落札候補者となりました。事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き113,470,000円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただ今の説明について、ご質問、ご意見等をお願いいたします。

【山口委員】

この工事はそんなに特殊な工事ではないと思いますが、1者しか応札が無いというのは、経審点数の条件が厳しかったという感じもありますし、発注者としてはどのように考えて見えますか。

【事務局】

経審点数については、あらかじめ定めた発注基準に沿った発注をしております。この条件で発注して1者しかいなかったところは、業者のその時の受注状況かも知れません。

【藤田委員】

経審点数が厳しかったので1者しか応札できなかったとは考えにくいということですね。では、なにか原因があるのでしょうか。

【防災・危機管理課】

12月ぐらいに発注しておりまして、年度末に向けて業者さんの繁忙期かなと思います。考えられることとしては入札時期があったのではと考えられます。年度初めの方が応札者数が多い気はしております。

【藤田委員】

入札時期と応札業者数には関係がありますか。4月頃ならそれなりに揃うが、年末になるとどうしても少なくなるというような。

【防災・危機管理課】

建築工事ですと、1月を過ぎると年度末に向けて工事が終了して来るものが多くなります。逆に年度当初の4月の発注だと、繰り越し工事をしていない限り、業者も手持ちの官公庁工事は比較的少ないので、年度初めの方が年度末より参加業者は多いかなという感じはしております。

【藤田委員】

発注時期はこの時期しか難しいのでしょうか。業務的に色々あるかと思いますが、早めることは難しいですか。

【防災・危機管理課】

本来は年度初めに発注し秋口に契約する予定でしたが、防災倉庫の建設に当たって、先行する法面補強の土木工事が入っておりまして、そちらが当初工程より後ろ倒しになったこ

ともあって、この時期の発注になってしまいました。年度明けて6月ぐらいに入札する予定でした。

【山口委員】

法面工事は同じ業者ですか。

【防災・危機管理課】

法面工事は、本件とは別の業者です。

【山口委員】

各課の発注の中で、応札業者が1者のみ、あるいは2者程度という案件が多々あるが、発注者側では分からないではなく、そうならないように過去にこういったことがあったので発注時期をずらしたとか、範囲を県外にしました等の努力をやっていかないといけない。なぜこうなったか考えて発注していただく必要があるのかなと思います。言いたいことは分かるんですが、何を努力したのかというところが必要かと思います。よろしくお願いします。

【委員長】

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

なければ私から。登録業者にどのような希望をもっているか等のアンケート調査のようなものをしたことがあるのでしょうか。

【事務局】

アンケート調査は、少なくとも私が来てからはありません。

【委員長】

業者からの希望がどういうものかを踏まえた上で、工夫できることを考えても良いのかなと思います。結果がこうだから終わりではなく、改善していくという努力が見られると良いのかなと思いました。この案件ではなく全般に応札が盛んになるような工夫をして頂ければよいのかなと意見を付託させていただきたいと思います。ほかになければこの案件は問題なしとしてよろしいか。

(異議なし)

【委員長】

はい、それでは問題なしということで、決定させていただきます。

ここで、担当課が入れ替わりますので、少々お待ちください。

(発注担当課入替え)

## 抽出事案 5 細川堆積土砂撤去工事

【委員長】

それでは、5件目、「細川堆積土砂撤去工事」の審議に入ります。本件の契約変更の概要~~、~~及び変更理由等について、発注担当課に説明を求めます。

【土木課】

土木課の二木です。よろしくお願いします。

それでは、概要書に沿ってご説明させていただきます。

件名は、細川堆積土砂撤去工事。

履行場所は、多度町御衣野地内。

履行期間は、令和7年1月21日から令和7年3月7日まで。

予算額は税込み2,942,500円に対して、設計金額は税込み2,942,500円となっております。

概要といたしましては、地元要望において河川内に堆積している土砂の撤去等を行うものです。

主な工事内容は、施工延長960m、掘削工260m<sup>3</sup>、除草工380m<sup>2</sup>等。

次に変更内容についてご説明させていただきます。39ページの変更内容概要書をご覧ください。

件名及び履行期間には変更がございません。

変更金額について、当初請負金額2,717,000円に対し、変更後請負金額は5,425,200円となり、2,708,200円の増額となりました。

変更の主な理由は、当初見込んでいた堆積土砂の土量が想定より多くあったことや、当初は河川内を施工範囲としておりましたが、地元から河川法面の除草や雑木等の伐採等について強い要望があり、実施したものです。

変更後の工事内容は、施工延長は当初と変わらず960m、掘削工は当初の260m<sup>3</sup>から440m<sup>3</sup>に増、伐木除根工は380m<sup>2</sup>から1,320m<sup>2</sup>に増、除草工は380m<sup>2</sup>から1,980m<sup>2</sup>に増となりました。

発注課としては、施工期間を考慮する中で別途工事を行うことは、年度内完成が難しいことや、費用面においても別発注することで増額金額以上の費用が必要になることを考慮しつつ、地元からの強い要望もあったことから、本工事の変更を行ったものでございます。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

はい。ありがとうございました。

では、ただ今の案件につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

【山口委員】

こちらは随意契約ですか。

【土木課】

一般競争入札です。

【山口委員】

何者応札がありましたか。

【土木課】

3者です。

【山口委員】



国交省の指針では、変更契約は元の金額の 30%以内ぐらいまでとあったと思いますが、積算時に現場を見て、正確な範囲が分からなかったのでしょうか。

【土木課】

現場を見て測量しておりましたが、河川内の堆積土砂で見えない部分等があり増えております。また、法面は当初の施工範囲に入れていない部分がありました。当初から設計に含めていれば、除草面積や伐木の数量に反映できたが、河川内の土砂又はそこに生える草木の除草をする目的がありまして、その追加は見込んでいなかったものです。しかし、地元からの強い要望があったため、このように追加となったものです。

【山口委員】

自治会とのコミュニケーションがきちんとしてあれば、このような増額変更は無かったんじゃないかな。できることとできないことがあると思いますが、地元とのコミュニケーションを取っていただいて、当初からやっていたら良かったんじゃないかなと。金額はしれています、倍額近くになっているので、もしかしたら別発注も考えられたかもしれません。そのような感触です。

【土木課】

おっしゃられた通りです。土木課への要望は1年程前に地元に取り組みはしておりますが、その時に堆積土砂の要望が上がっていました。そこから1年程度経って実際に土砂だけで良かったのかと言われると、再度取り組みしても良かったかもしれません。今後はもっとコミュニケーションを取って施工範囲を決めていきたいと思っています。

【委員長】

ほかによろしいでしょうか。

(意見等なし)

【委員長】

この案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

【委員長】

問題なしと認め、そのように決定いたします。

では、これにて抽出案件5件の審議を終了いたします。

発注担当課は、ここで退席してください。ありがとうございました。

(発注担当課退席)

### (3) 入札・契約制度における課題・取組みについて

【委員長】

次に、「議事(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて」となります。事務局から説明をお願いします。

## 【事務局】

では、(3) 入札・契約制度における課題・取組みについてですが、その前に 1 点ご報告します。11月27日、前回開催の監視委員会で、山口委員より、週休二日制工事の確認方法についてご質問いただいたかと思います。その後確認いたしましたところ、「土日完全週休 2 日制工事 月単位確認表」といった資料を業者から提出いただき、工事担当課において確認しております。

なお、提出された資料については、契約監理課の検査指導係においても検査時に確認を行っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、今回の「随意契約の適正な運用について」、「災害時における入札方法について」を、お手元の資料によりご説明申し上げます。

資料最後の47ページをご覧ください。

初めに「随意契約の適正な運用について」でございます。

随意契約とは、競争入札の方法によらず見積書を徴して契約金額や契約の相手方を任意に決定する方法です。地方公共団体の契約方法は一般競争入札が原則とされていますが、随意契約はその例外として一般の競争入札によると不利になると認められる場合や、契約の性質や目的が競争入札に適さない場合、競争入札が成立しない場合や、価格が少額の場合など、地方自治法施行令第 167 条の 2 第 1 項で認められた場合に限り実施できるものです。

しかし、その運用を誤ると適正な価格によって行われるべき契約自体が不適正な価格によって行われ、公正な取引の確保を損なうことにもなりかねません。本市においても、「業務に精通している」、「特殊な業務である」といった理由により随意契約とするケースがみられますが、本委員会の抽出事案として「競争性は働かないのか」、「見積金額は妥当なのか」など、ご意見やご質問をいただいているところです。

まずは、競争性を確保させることを念頭に置き、様々な要因から競争入札が適していないと判断した場合に、市として最も有利となる条件をもった者と契約しなければなりません。随意契約ガイドラインの要領を恣意的に拡大解釈しないよう留意しつつ、随意契約の適正な運用に努めてまいります。

続きまして、「災害時における入札方法について」でございます。

平常時に発注する工事にあつては、競争性や公平性を確保する観点から、一般競争入札を適用しています。しかし、地震や風水害等による災害発生後の復旧に当たっては、早期かつ確実に工事を実施することができる業者を短期間で選定し、作業に着手させなければなりません。

発災直後から対応が必要な被害状況調査、道路啓開などの応急復旧は緊急度が極めて高く、随意契約又は既契約の維持工事等を活用して速やかに実施します。契約相手先の選定に当たっては、災害協定の締結状況、災害地における維持工事等の実施状況、業者の本支店の所在地や業者の被害状況、近隣での施工実績などを勘案し、早期かつ確実に施工を行える業者を選択します。

次に、随意契約によらないものであって、災害の影響などにより労働力や資機材の調達がひっ迫した環境で実施する工事など、競争に加わるものが少数になり一般競争入札に付する必要がないものには「指名競争入札」を適用します。

なお、その場合においても、業者の所在地、同種類似工事の実施状況などを考慮し、指名及び受注の状況を勘案し、可能な限り特定の者に偏らないようにして、競争入札を実施します。

災害発生から復旧が進み、一定の入札契約期間が確保できると判断できるようになれば、競争性、公平性の確保の観点から一般競争入札や総合評価落札方式を適用します。

このように、災害時における入札契約方法については、工事の緊急性の度合い、災害支援協定締結の状況など、工事を実施する業者の体制、地理的状況等を勘案し、契約相手先の選定方法を検討していくこととなります。

緊急度の順に沿って説明をいたしました。緊急復旧時など緊急度が高い場合におきましても「随意契約の適正な運用について」でご説明いたしましたとおり、透明性や公平性を確保しながら、市として最も有利な条件をもった者と契約し、災害復旧が迅速かつ円滑に実施される体制づくりに努めてまいります。

説明は以上でございます。

#### 【委員長】

それでは、ただ今の説明について、ご意見、ご質問等いかがでしょうか。

#### 【山口委員】

随意契約にしても災害時の契約相手にしても、現実問題として一般競争入札で応札業者が1者もしくは2者という案件がたくさん見受けられます。そういった状況で、災害発生時に本当に来てもらえるのか。今の状況では全く期待できないと思います。随意契約の見直しについてもそうですが、まず一般的な案件について、より多くの業者が参加できるようなシステムや考えを出してもらわないと、いきなりは難しいのでは。市民としては、その辺が不安に感じます。机上の空論に聞こえてしまいます。ですので、まずは一般案件でできるだけ多くの業者が応札してもらえるような努力をしていただきたい。おっしゃることは、理解できますし、大切なことだとは思いますが、これは進めていていただきたいなと思います。

#### 【事務局】

委員のおっしゃられるように一般競争入札で応札者がいない中で、大震災等の広域での災害時に、業者は手を挙げられない状況になると思います。そういった中で桑名市は現在、災害協定を締結しております。三重県建設業協会桑名支部と締結をしておりますが、桑名市だけではなく三重県とも締結をしておりますので、そちらに業者を持っていかれることもございます。

ですので、ここは普段から地元の桑名市の業者との連携をしっかりと結んでいくことが

大切ではないかなと思いますので、しっかりとやっていきたいと思います。

【山口委員】

災害時には、一般的な契約事務をせずに工事を発注できるというような規定はありますか。

【事務局】

緊急の場合のみございます。

【委員長】

災害時に、どういうことが起こるのかというのはすごく懸念される事項だと思います。そういう時に、いかに民間業者さんが積極的に協力してくださるかというのは、市と業者との色々な関係があると思います。

良い経営をしている会社、地域貢献度が高い会社とか、社員を大切にしている会社などを何か表彰するような形をとって、周知することで、例えばそれが人材採用について良い効果を生むといったことがあります。世間からの目も、あそこはそういったことをしてくれる会社だという期待感が高まると、いざという時も迅速な協力に繋がるのではないかなと思います。

入札について何かすぐにできるわけではありませんが、行政全体として市内業者と良い関係を築くための工夫で、良い会社を育てていくようなことができると良いのではないかなと思いました。個人的な意見ですが、そういったことで市が良くなっていけば良いなと思います。

ほかにご意見、ご質問等いかがでしょうか、よろしいですか。

(意見等なし)

【委員長】

それでは、この件については以上とします。

#### (4) その他

【委員長】

次に、事項の4、その他に入ります。

まず、審議案件の次回の抽出ですけれども、私の順番となりますので、よろしくお願いします。

ほかに関心のある皆様から何かございますか。

【山口委員】

抽出時に入札経過表と工事一覧、変更契約一覧をいただいたのですが、これらだけでは抽出が難しい。今回は、応札業者の多い少ないや変更契約の変更額が大きいという理由で選んだが、委員会の資料には各案件の条件が書いてある。公告の書類を付けていただけないか。

【委員長】

発注公告のことですよね。それも資料として付けていただけると良いとのことですが、いかがでしょうか。

【山口委員】

各種条件が非公表なので、我々が紛失等をしてしまったら困るといったことがあるのであれば難しいかもしれませんが、委員は積算や入札をやったことがないので、今の資料だけでは実際、抽出が難しいです。皆さんいかがでしょうか。

【事務局】

発注公告を付けてくださいというご意見だと思いますが、公告の形か、別の形で一覧でお出しさせていただくかは、事務局で検討させていただいて、またお示しをさせていただきます。

【山口委員】

面倒かもしれませんが、やはり今の資料だけでは厳しいので、よろしくお願いします。

【委員長】

これだったら答えが出るというのがあれば、事務局から今ここでいかがでしょうか。

【事務局】

提出資料が増えることになるので、皆さんが見やすいような工夫をさせていただく等の方法もあると思いますので、検討させていただきます。よろしくお願いします。

【山口委員】

それと、工事一覧に番号を付けて欲しいです。よろしくお願いします。

【委員長】

よろしくお願いします。

【事務局】

分かりました。

【委員長】

それから、赤木委員がいらっしゃったらA Iの活用は何か考えられているのですかと質問しそうな気がしますが、いかがでしょうか。

【事務局】

正直なところ、何も手を付けられていない状況でございます。

【委員長】

もちろん情報漏洩があってはいけません、適切な運用でうまく活用できるものがあれば、活用していただくと良いのではないかなと思います。

ほかには何かよろしかったでしょうか。

(意見等なし)

【委員長】

それでは、事務局の方から何かございますか。

【事務局】

事務局から1点、お願いします。

次回、令和8年度第1回目の入札監視委員会の日程調整でございます。

事務局としましては、5月28日木曜日の午前10時もしくは同日午後2時からのいずれかかと考えておりますが、いずれも御都合が悪い場合は、別の日も御提案させていただきますので、日程調整をお願いしたいと思います。

【委員長】

回次の日程について、事務局から5月28日の木曜日午前10時もしくは午後2時からという提示がありましたが、ご都合悪い方はいらっしゃいますか。

(日程調整)

【委員長】

では、次回は5月28日木曜日の午後2時からということで、よろしくお願いいたします。

### 3 閉 会

【委員長】

それでは、予定していた本日の案件が全て終了しましたので、これをもちまして令和7年度第3回入札監視委員会を閉会いたします。